

青年リーダー像の例

子供・若者育成支援推進大綱

(平成 28 年 2 月 子ども・若者育成支援推進本部決定)

創造的な未来を切り開く子供・若者の応援

- (1) グローバル社会で活躍する人材の育成
- (2) イノベーションの担い手となる科学技術人材等の育成
- (3) 情報通信技術の進化に適応し、活用できる人材の育成
- (4) 地域づくりで活躍する若者の応援
- (5) 国際的に活躍する次世代競技者、新進芸術家等の育成
- (6) 社会貢献活動等に対する応援

(同大綱「第 3 基本的な施策」の「5」より抜粋)

グローバル人材の育成・活用に向けて求められる取り組みに関するアンケート結果

(平成 27 年 3 月 一般社団法人日本経済団体連合会決定)

グローバル事業で活躍する人材に求められる素質、知識・能力

- 海外との社会・文化、価値観の差に興味・関心を持ち、柔軟に対応する姿勢
- 既成概念にとらわれず、チャレンジ精神を持ち続ける
- 英語をはじめ外国語によるコミュニケーション能力を有する
- グローバルな視点と国籍、文化、価値観、宗教等の差を踏まえたマネジメント能力

(同結果「第 部:事業活動のグローバル化を巡る状況とグローバル人材の育成・活用に向けた企業の取り組み」の「2.(1)」より抜粋)

人間力戦略研究会報告書

(平成15年4月 人間力戦略研究会決定)

- ・ 人間力に関する確立された定義は必ずしもないが、本報告では、「社会を構成し運営をするとともに、自立した一人の人間として力強く生きていくための総合的な力」と定義したい。
- ・ 具体的には、人間力をその構成要素に着目するならば、
 - 「基礎学力(主に学校教育を通じて修得される基礎的な知的能力)」、
 - 「専門的な知識・ノウハウ」を持ち、自らそれを継続的に高めていく力。また、それらの上に応用力として構築される「論理的思考力」、
 - 「創造力」などの知的能力的要素
 - 「コミュニケーションスキル」、「リーダーシップ」、「公共心」、「規範意識」や「他者を尊重し切磋琢磨しながらお互いを高め合う力」などの社会・対人関係力的要素
 - これらの要素を十分に発揮するための「意欲」、「忍耐力」や「自分らしい生き方や成功を追求する力」などの自己制御的要素などがあげられ、これらを総合的にバランス良く高めることが、人間力を高めることと言えよう。

(同報告書「人間力の定義」より抜粋)